



ひとりの声を大切に！

高山豊彦(とよさん通信)

第18号



2023年(令和5年)春号

発行責任者：高山豊彦 TEL/FAX：0774-78-2935

E-mail：toyohiko.takayama.3272@gmail.com

WEBサイト：https://www.komei.or.jp/km/takayama-toyohiko-wazuka/

この度、和束町議会議員選挙におきまして、皆様の真心からのご支援により2期目の当選をさせていただくことができました。皆様のご期待にお応えすべく、和束町の発展(仮称)犬内峠トンネル開通を見据えたまちづくりに全力で取り組んでまいります。今号では、令和5年第1回定例会での一般質問等の内容をご報告させていただきます。



令和5年度予算

☆ 一般会計 41億8,730万円 ☆ 特別会計 19億5,070万円

【主な事業】

◎子育て支援の充実・・・1億9,052万円

◆子育て応援給付金事業、妊娠出産期支援事業等

◎国内外の交流と国際化への対応・・・1,100万円

◆農・観連携コミュニティ創生事業、大阪・関西万博きょうとの力創出・発信事業等

◎上・下水道整備・・・2億2,045万円

◆合併処理浄化槽維持管理事業補助金等

◎環境と共生した生活スタイルの確立・1億5,042万円

◆地域循環型農業推進事業等

◎農林業の振興・・・3,637万円

◆農業次世代人材投資資金給付事業、農業経営継承・発展等支援事業、
和束茶ブランド確立事業、地域ブランド育成支援事業等

◎活力を生み出す商工業の振興・・・1,629万円

◆和束町雇用促進事業等

◎道路網の整備・・・2億1,281万円

◆祝橋整備事業、石寺橋整備事業、町道中溝学校線改良事業等

◎公共交通システムの充実・・・6,001万円

◆路線バス対策事業、茶源郷乗合交通生活お届け事業等



物価高騰対策等を見据えた緊急要望を提出

令和5年3月22日に、物価高騰対策等として国等から交付金の追加交付があった場合には、子育て世帯や住民税非課税世帯等低所得者への支援、光熱水費・LPガス料金(町外事業者との契約者を含む)の負担軽減など、住民生活や事業活動を支えるための支援策を速やかに講じるよう要望しました。

一般質問

お茶観光を軸とした交流の郷のとりくみ

- 【質問】 1. 茶源郷エリアの充実・整備の具体的な取り組みは。
2. 和束茶ブランディング等に民間事業者から協力の申し出があると聞か。
3. 地域雇用促進活性化推進事業の取り組み状況は。
4. 令和5年度が事業の最終年度となるが、特定地域づくり事業協同組合制度を活用した地域商社の設立などは可能か。
5. 住民との協力を大事にしたまちづくりを。



- 【答弁】 1. グリンティ和束、和束運動公園一帯の交流拠点エリアを基盤に、産業・文化・歴史等を活かし、魅力を発信できる拠点の充実と、官民が連携し、新たな民間事業者等が活躍できる環境づくりを進める。
2. 和束茶ブランド、和束町のブランドを発信することで、町の活性化や茶業の振興にもつながり、進めていきたい。
3. 茶産業を軸に、茶業に観光や新たな農業等を加え6次産業化を推進し、新たなアグリビジネスを地域の様々な方が担い手となり、経済活動を通じて雇用の創出、移住・定住の取り組みを進めており、分野ごとのセミナー等を開催し、雇用創出予定人数は40人となっている。また、地域事業者の事業拡大や新規事業等の伴走支援も行っている。
4. 雇用促進協議会が伴走支援をし、お茶農家や茶の新しい独自産業化の企業と一緒に団体をつくり、引き継げるよう頑張っている。
5. 住民との信頼を大事に、住民と一緒にまちづくりを進める。

環境と共生した生活スタイルの確立を

- 【質問】 1. ゴミ処理の経費削減に向けた取り組みは。
2. シルバー人材の雇用にもつながるリサイクルセンター設置の考えは。



- 【答弁】 1. SDGs社会に向けてゴミのリサイクルや資源化が大事、財団法人活性化センターに委託している生ゴミの堆肥化を促進し、全世帯に広めていくことが大事。
2. 再利用を促進させる機能が課題、SDGsの流れの中、資源を資源にする取り組みが大事、先進事例を学びながら検討する。

公共交通システムの充実は

- 【質問】 1. 4月以降の茶源郷乗合交通「ワヅカー」の計画は。
2. 4月以降の湯船地域の交通手段の考えは。
3. (仮称)犬打峠トンネル開通を見据えた新たな路線の取り組み状況は。



- 【答弁】 1. 実証実験期間を1年間延長し、住民対象のアンケートやワークショップ等を行い、住民の皆様にとって利用しやすいサービス内容を検証し、運行主体についても地域の民間事業者や地域団体等も視野に入れ、新たな雇用創出につながる取り組みを進めたい。
2. ワヅカーを毎日運行し、住民の皆様の声もお聞きしサービスの充実を図っていきたい。奈良交通へは小学校前で乗り継ぎが必要となるため、待ち時間が極力発生しないよう予約時の丁寧な案内に努めたい。
3. 京都府山城振興局の主催で山城地域公共交通に関する連絡会議で、市町村が抱える課題について意見交換を行なった。新たな路線の開設については、利便性の向上や持続可能な路線として継続できるよう、他の自治体やバス事業者の協力も得ながら進めていきたい。